



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 キムラユニティー株式会社
 コード番号 9368 URL <http://www.kimura-unity.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

(氏名) 木村 幸夫
 (氏名) 小山 幸弘

TEL 052-962-7053

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	28,032	5.6	857	5.2	919	1.2	397	△26.5
23年3月期第3四半期	26,542	2.2	815	19.7	908	37.2	540	104.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 456百万円 (△6.7%) 23年3月期第3四半期 489百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	32.93	—
23年3月期第3四半期	44.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	39,779	20,881	51.4
23年3月期	39,844	20,666	50.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 20,427百万円 23年3月期 20,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,700	6.5	1,180	20.3	1,240	12.3	570	△6.4	47.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	12,070,000 株	23年3月期	12,070,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,547 株	23年3月期	1,547 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	12,068,453 株	23年3月期3Q	12,068,472 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、3月に発生した東日本大震災による極めて深刻な状況から、回復しつつある中、10月にタイで発生した水害の影響や欧州での金融危機の影響、更には円高の進行、失業率の高止まり等、先行き不透明な厳しい状況が続いております。

また、当社グループと関係の深い自動車業界でも、第2四半期に入り、生産を中心に回復傾向で推移したものの、タイでの水害により再び自動車部品供給網が寸断し、主要顧客においても工場での減産等、本格的な回復には至らず推移しました。

このような環境の中で当社グループにおきましても、前半は、主要顧客を中心とした工場等の稼働停止の影響により業績に大きな影響を受けましたが、第2四半期以降は、タイでの被害も最小限に止まり、主要顧客からの受注が回復傾向で推移しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は28,032百万円（前年同期比5.6%増収）となりました。利益面においては、営業利益が857百万円（前年同期比5.2%増益）、経常利益は、919百万円（前年同期比1.2%増益）と前年同期比増益に転じることができました。四半期純利益は、震災による工場等の稼働停止による固定費を「災害による損失」として136百万円計上したことに加え、法人税率の引き下げに関する法律が公布されたことに伴う繰延税金資産の取崩し107百万円もあり、397百万円（前年同期比26.5%減益）となりました。

なお、主なセグメント別の売上高（セグメント間の内部売上を含む）、営業利益の状況は次のとおりであります。

① 物流サービス事業

物流サービス事業は、震災の影響による生産工場の稼働停止等の影響を大きく受けましたが、中国天津及び広州の子会社の伸長や、国内でも、NLS（ニューロジスティクス）事業分野で新規顧客からの受注が拡大したこと等により、売上高は18,731百万円（前年同期比9.8%増収）となりました。営業利益は、震災による影響はあったものの、1,245百万円（前年同期比2.9%増益）と増益に転じました。

② 自動車サービス事業

自動車サービス事業は、個人消費の低迷が続く中、震災により自動車生産が大きく落ち込み、自動車リースの代替、新車販売等が低調に推移したこと等により、売上高は8,286百万円（前年同期比2.5%減収）となりました。一方、営業利益は、リース事業を中心に昨年度より取り組んでおります収益改善の効果や中古車販売単価の上昇等により404百万円（前年同期比59.4%増益）となりました。

③ 情報サービス事業

情報サービス事業は、売上高は874百万円（前年同期比1.8%増収）となりましたが、営業損益は、新規受注案件の生産性の悪化によりシステム開発コストが大幅に増加し、△79百万円（前年同期65百万円の利益）と赤字となりました。

④ 人材サービス事業

人材サービス事業は、上半期では震災影響による派遣需要減少の影響を受けましたが、第2四半期以降、受注が回復し、売上高は562百万円（前年同期比3.0%増収）となりました。営業利益は、増収及び原価削減効果等により、42百万円（前年同期比25.6%増益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ821百万円増加し、18,330百万円となりました。主な要因は売上債権の増加等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ885百万円減少し、21,449百万円となりました。主な要因は有形固定資産の減少等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ64百万円減少し、39,779百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ45百万円増加し、9,052百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ325百万円減少し、9,845百万円となりました。主な要因は長期未払金の減少等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ215百万円増加し、20,881百万円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、震災後、サプライチェーンの立て直しにより持ち直しつつあるものの、タイ国での水害、円高の進行、失業率の高止まり、個人消費の低迷等、また欧州での金融危機等の海外経済の下振れリスクもあり、景気回復は、依然として不透明で厳しい状況が続くと思われまます。

このような環境の中で当社グループの業績につきましては、第3四半期累計期間が平成23年11月2日に公表いたしました業績予想に対し順調に推移している状況ではあり、売上高、営業利益、経常利益につきましては、前回公表数値から変更はありません。

当期純利益につきましては、法人税率引き下げに関する法律が公布されたことに伴う繰延税金資産の取崩しを見込んだことにより、連結、個別とも平成23年11月2日公表の予想値を下記の通り修正いたします。

① 平成24年3月期 通期 連結業績予想数値の修正

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	37,700	1,180	1,240	680	56.35
今回発表予想 (B)	37,700	1,180	1,240	570	47.23
増減額 (B-A)	—	—	—	△110	—
増減率 (%)	—	—	—	△16.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	35,398	980	1,104	609	50.47

② 平成24年3月期 通期 個別業績予想数値の修正

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	34,210	740	830	390	32.32
今回発表予想 (B)	34,210	740	830	280	23.20
増減額 (B-A)	—	—	—	△110	—
増減率 (%)	—	—	—	△28.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	33,044	784	896	295	24.44

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,727,162	4,450,335
受取手形及び売掛金	4,255,058	5,069,358
リース投資資産	6,911,761	7,069,918
商品及び製品	92,726	105,381
仕掛品	39,660	71,044
原材料及び貯蔵品	161,087	174,588
繰延税金資産	293,442	268,310
その他	1,033,815	1,127,676
貸倒引当金	△5,400	△6,100
流動資産合計	17,509,314	18,330,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,214,029	7,786,575
機械装置及び運搬具(純額)	394,717	417,057
貸与資産(純額)	382,928	330,206
土地	6,123,040	5,907,579
建設仮勘定	88,353	284,785
その他(純額)	396,764	365,130
有形固定資産合計	15,599,834	15,091,335
無形固定資産		
のれん	8,733	5,319
その他	665,460	624,351
無形固定資産合計	674,194	629,670
投資その他の資産		
投資有価証券	2,742,685	2,560,221
繰延税金資産	722,480	634,024
その他	2,606,696	2,537,329
貸倒引当金	△10,691	△3,104
投資その他の資産合計	6,061,171	5,728,470
固定資産合計	22,335,199	21,449,476
資産合計	39,844,514	39,779,989

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	769,888	939,120
短期借入金	1,738,496	1,889,177
1年内償還予定の社債	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	—
未払費用	1,753,893	1,736,105
未払法人税等	121,575	34,980
賞与引当金	525,525	151,292
役員賞与引当金	20,000	15,000
その他	3,078,467	3,287,245
流動負債合計	9,007,846	9,052,922
固定負債		
社債	1,000,000	—
長期借入金	—	1,000,000
長期末払金	6,096,939	5,908,811
退職給付引当金	1,795,621	1,828,818
再評価に係る繰延税金負債	1,133,876	1,010,095
その他	144,115	97,818
固定負債合計	10,170,554	9,845,543
負債合計	19,178,400	18,898,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,580,350	3,580,350
資本剰余金	3,420,139	3,420,139
利益剰余金	13,123,488	13,279,628
自己株式	△1,290	△1,290
株主資本合計	20,122,688	20,278,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	347,728	267,629
土地再評価差額金	275,980	399,762
為替換算調整勘定	△482,376	△518,664
その他の包括利益累計額合計	141,332	148,727
少数株主持分	402,092	453,967
純資産合計	20,666,113	20,881,523
負債純資産合計	39,844,514	39,779,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	26,542,838	28,032,105
売上原価	22,505,482	23,726,502
売上総利益	4,037,355	4,305,602
販売費及び一般管理費	3,222,340	3,447,980
営業利益	815,015	857,622
営業外収益		
受取利息	1,239	750
受取配当金	27,621	29,588
持分法による投資利益	167,428	107,395
その他	30,974	31,825
営業外収益合計	227,263	169,559
営業外費用		
支払利息	64,519	73,153
為替差損	65,252	31,783
その他	3,976	2,690
営業外費用合計	133,749	107,628
経常利益	908,529	919,553
特別利益		
固定資産売却益	314	4,806
特別利益合計	314	4,806
特別損失		
固定資産除売却損	14,311	25,404
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,881	—
災害による損失	—	136,083
その他	1,034	23,046
特別損失合計	31,227	184,534
税金等調整前四半期純利益	877,616	739,825
法人税、住民税及び事業税	299,214	90,335
法人税等調整額	—	199,384
法人税等合計	299,214	289,720
少数株主損益調整前四半期純利益	578,401	450,105
少数株主利益	37,920	52,596
四半期純利益	540,481	397,508

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	578,401	450,105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90,255	△80,098
土地再評価差額金	—	123,781
為替換算調整勘定	175	△13,387
持分法適用会社に対する持分相当額	1,302	△23,622
その他の包括利益合計	△88,777	6,673
四半期包括利益	489,624	456,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	451,413	404,904
少数株主に係る四半期包括利益	38,210	51,874

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	物流サービス事業	自動車サービス事業	情報サービス事業	人材サービス事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	17,067,025	8,445,372	859,251	171,189	26,542,838	—	26,542,838
セグメント間の内部売上高又は振替高	98	56,125	—	375,162	431,386	△431,386	—
計	17,067,123	8,501,497	859,251	546,351	26,974,224	△431,386	26,542,838
セグメント利益	1,210,603	253,955	65,542	34,178	1,564,279	△749,264	815,015

(注) 1. セグメント利益の調整額△749,264千円には、セグメント間取引消去2,281千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△751,546千円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	物流サービス事業	自動車サービス事業	情報サービス事業	人材サービス事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	18,731,789	8,234,484	874,801	191,030	28,032,105	—	28,032,105
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	52,355	—	371,533	423,889	△423,889	—
計	18,731,789	8,286,839	874,801	562,564	28,455,994	△423,889	28,032,105
セグメント利益又は損失(△)	1,245,602	404,718	△79,903	42,944	1,613,361	△755,739	857,622

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△755,739千円には、セグメント間取引消去2,281千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△758,021千円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。